

平成19年度「府中市キャリア・スタート・ウィーク」

教職員一日職場体験研修報告書

府中市立 第一中学校

氏 名 瀧川真由美

体験日	平成19年8月20日(月)
体験事業所	リョービ 株式会社
<p>1 感想</p> <p>世界のリョービに1日職場体験に参加させていただいた！事業所内の見学ができる、印刷機の製造工程も見学できると事前の打ち合わせ時よりワクワクしていた。期待通り、すごいスケールで安心な製品と安全に対して配慮された職場を見学させていただいた。</p> <p>研修がスタートしてすぐ「社会人としてのスターとは、挨拶から始まる。コミュニケーションを円滑にするためにも、笑顔で相手の目を見て、自分からしていくとよい。」と指導を受けた。さらに「中学生だもん、それくらいはできるよね。」との言葉。できないかもしれない、できるように指導ができていないかもしれない、と教職員としての反省をしつつ、生徒の手本となるつもりで大きな声で明るく挨拶をした。</p> <p>研修で特に印象に残った3点を挙げておく。</p> <p>経営理念に基づき、自分の持ち場で何ができるか考え、行動することが日々の仕事の中で必要である。</p> <p>努力し、工夫し、改善すれば、その成果は出てくる。</p> <p>会社は生き物であり変化していくし、また、変化しないと生き残れない。</p> <p>今回の職場体験を受け入れてくださった職場の方々、この体験事業を計画して下さった市教委の皆さんに感謝している。多くの方々の思いに支えられ、本当に貴重な体験ができ、感謝「ありがとうございました」で締めくくりたい。</p> <p>2 平成20年度「府中市キャリア・スタート・ウィーク」の推進に向けての抱負及び改善点</p> <p>受け入れてくださる事業所の真剣さ、熱心さに対して、体験させていただく生徒の準備が、かなり不足しているように感じた。具体的には、参加する際の心構え、大きな声でさわやかな挨拶をする、準備物を忘れないといったような基本的なことである。</p> <p>従って、平成20年度の「キャリア・スタート・ウィーク」では、参加する生徒の意識を高め、事業所の方々の熱意に応えられるだけの準備をして参加させたいと思う。また、基本的なマナー「挨拶」「返事」をきちんとさわやかにできるように、日常より指導をくり返し、身につけさせたい。</p>	